

真誠

学校だより
No.10
西東京市立
田無小学校
令和4年
1月31日

「思いやり」を大切に

副校長 藤本 知子

三学期が始まり、一か月が過ぎようとしています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン授業も続いています。三学期は、大変短い期間です。学年のまとめとして、一年間の学級・学年・学校の目標を、それぞれの子供たちにご達成させることができたか、自他共に反省・評価する大事な時期です。

今月は道徳授業地区公開講座があります。今年度も昨年度同様、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し授業公開は実施しませんが、土曜授業は実施します。

道徳では、「思いやり」をテーマにした授業がよく行われます。そこで、「思いやり」ということについて考えてみました。

以前、担任をしているとき、保護者の方に、「自分の子供をどんな子供に育てたいかと質問してみると、「思いやりのある優しい子」と答える方が多かったです。人柄がよい人の特徴にも「他人に対して思いやりがある」などがよく挙げられます。

す。これだけ「思いやり」が求められるのは、現代の人間関係が希薄なものになってしまったからなのかと、考えさせられます。

「思いやり」とは、少なくとも自分の立場に固執したり、一方的に自分の考えを押しつけたらすることではないので、「他人の立場を考える」ということが、要件であると思います。しかし、他人の立場を考えて、完全に相手の考えを受け入れてしまったり、相手の主張に屈してしまったりしたのでは、今度はその相手が「思いやりのない」人になってしまいます。「他人の立場を考える」ことに徹することは、結果的に相手を「思いやりのない」人の立場に追いやるということにもなりかねません。

「思いやり」とは、互いにゆすり合う交渉関係の中に、そうしたことを互いに許し合う人間関係の中にあるとも言えます。そして、このような人間関係の背後には、それを支えているそれぞれの人の心の動きがなくてはなりません。それは、第一に相手の立場に立てる「共感する心」であり、第二には相手の気持ち

分かる「知的な判断力」であり、また、我々教師は、このような心の動きを意識できるような子供を道徳の授業を含め、学校生活全体を通して育てていきたいものです。

『一月行く、二月逃げる、三月去る』という諺の通り、今の学年での授業日数も四十日を切りました。六年生は、卒業に向けて動き出す時期です。残された小学校生活最後のまとめと締めくくりをしつかりと行い、中学校生活の糧にしてほしいです。また、他の学年は在校生として、六年生を思いやりのある感謝の気持ちで送り出すとともに、学年のまとめと締めくくりをし、次年度へとつなげてほしいと思います。

オンライン授業においては、ご家庭でのご理解とご協力に感謝申し上げます。ご不安な点がありましたら、学校までご連絡をお願いいたします。スクールカウンセラーも下記の日程で来校しています。保護者の皆様におかれましては、引き続き、ご協力よろしくお願いいたします。

28		25		23		22		19		18		16		14		11		10		9		8		7		4		3		2		1		二月の主な行事予定
月	金	水	火	土	金	水	月	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	金	木	水				
委員会	安全指導	六年生を送る会	天皇誕生日	クラブ発表会(3~6)	土曜時程・午前授業 校内書写展(終) 認知症教育(6)	歯科衛生指導(6)	校内研究会・午前授業	クラブ 校内書写展始(児童鑑賞のみ)	建国記念の日	午前授業(1~5・わ) 歯科衛生指導(4) 避難訓練	薬物乱用防止教室(6)	新一年生入学手続き日	委員会	オンライン授業	オンライン授業	オンライン授業	オンライン授業	委員会	オンライン授業	オンライン授業	オンライン授業	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会		

※今月のスクールカウンセラー来校日は4日、9日(水)、18日、25日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込めか、来校日のAM9:00~9:20に463-5902(相談室直通)または学校に連絡してください。

書き初めで身につく力

浅山 光一

成功よりも、失敗からの方が学ぶことは多い。宇宙飛行士の若田光一さんは、紙飛行機や小さいエンジンがついたおもちゃを、よく作って飛ばしていたと言います。うまく飛ばない時は「なぜ失敗したんだろう。次は、どうすれば上手くいくんだろう。」と考えることを楽しんだそうです。今の彼があるのは、無数の失敗を糧としてきたからなのだと感じるエピソードでした。

飾る作品をよりよい物にするために、同じ字に何度も挑戦する書写の時間。失敗から学んで次に生かす姿勢を身に付けるために、とてもよい機会だと私は考えています。自分のクラスではこれを「反省する力」と説明しています。書写以外の芸術・学術・スポーツ等の場面でも、この粘り強い挑戦心が人を伸ばします。書き初め展は何度も練習し、反省点を見付け、試行錯誤の上でできた集大成です。是非「頑張ったね」と声をかけ、応援してあげてください。

道徳授業地区公開講座

道徳部 室岡 宗一朗

道徳科の学習では、教材を通じて様々な価値観に触れ、自分自身や自己の生き方について深く考えることをねらいとしています。道徳科と他の教科との一番の違いは、答えが一つでないところです。クラスの人数だけ、考え方や感じ方があり、そのどれもが正しいのです。そのため、道徳科の授業では、色々な子が発表したり、意思表示できたりすることが大切であり、そのための指導の工夫が見られます。たとえば、ハンドサインで登場人物の気持ちを表したり、色画用紙や紙コップを使って自分の立場を表明したりするといった視覚に訴えるものや、児童の書いたワークシートやアンケートの結果を発表し、意見を共有したりするものです。他の教科ではなかなか意見を言えない児童でも、道徳なら発表できるという場合も少なくありません。

ふれあい月間

生活指導主任 金子 嘉良

西東京市では、六月、十一月、二月に「ふれあい月間」を設けています。各学校が、いじめや不登校、問題行動の未然防止、早期発見、早期対応につながる具体的な取り組みを行います。また今年度から「西東京あつたか先生」を宣言し、全ての小中学校で、一人一人の子供たちを大切にすることを進めているところです。田無小では「一人一人に、〇〇さんと呼名して出席を確認し、表情を確認すること」や「学級の児童に一日一回以上、個別に声をかけること」などを、いつも以上に意識しています。また、今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のために新しい生活様式を実践していきます。換気の徹底や、手洗いを確実に、児童の健康面や情緒面にも配慮し、指導を進めていきます。今後も、児童が安心して登校し、充実した学校生活を送れるように教職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

クラブ活動

特別活動部 渡邊 真南

今年度のクラブ活動も、できるだけ密を避けて活動ができるよう、それぞれのクラブで内容を工夫して取り組んでいます。制限のある中ではありますが、クラブ活動は、自分の興味・関心を追求できる場であると同時に、異学年との交流の場でもあります。普段の学級での活動とはまた違った雰囲気の中で、楽しく充実した活動を行ってほしいと思ひます。

今後予定しているクラブ発表では、四く六年生が活動の成果を発表します。三年生は、その発表を見て、来年度入りたいクラブを考えます。六年生はクラブを運営してきた達成感を味わい、四く五年生は活動の意義を感じ、三年生は来年度への期待感を高められるよう取り組んでいきたいと思ひます。